

窈窕

ようちょう

私はよく本名かと尋ねられます。

一青は石川の能登半島にシトトという鳥が由来の地名があります。

名前は父が付けてくれたと聞きます。

なにはともあれ、まずパソコンで「窈窕」と打ってください。

穴冠に幼いと書きます。「窈窕たる淑女」というように使いますが

本来の意味は山水・宮殿などの奥深いさまや、女性の奥ゆかしいさまを言います。

その度に自分の名前の美しさに負けないように、両親の想いをなぞれるように

たおやかでありたいと願って止みません。

詩を考えるとときに曲名、つまりタイトルを考えると肝だといつも思っていて

その言葉の意味をまず探るところから私は始まります。

そしてそこから語源や伝説を紐解いて

自身の経験や感動に結びつけて詩〓物語を書きます。

実感と創造の連続性において、人の心に一番響く言葉をいつも模索しています。

日本語には本当に美しい言葉がたくさん存在していて

そのどれもが私を魅了してくれます。

中国語には中国語のおもしろさ、英語には英語のおもしろさ

どの言語も秘密がいっぱい閉じ込められていて

私は新しい組み合わせを考えたり、すでにある言葉の由来に驚いたり、

知らない言葉と出会うことにわくわくしたり、

言葉の限界と広がりを楽しんでいます。

伝えたい人が居て、伝えたいことがあつて

だから私は今日も言葉を愛して、人を愛しているのだと思います。

窈窕

一青 窈 歌手

ひととよう

1976年9月20日東京生まれ。台湾人の父と日本人の母の間に生まれる。台北で幼稚園を卒園後、日本で生活。慶應義塾大学環境情報学部(SFC)卒。大学時代にはアカベラサークルでストリートライブも行う。2002年「もらい泣き」でデビュー、2004年には台湾の巨匠、ホウ・シャオシェン監督による、映画「珈琲時光」初主演、「ハナミズキ」のロングヒットと、活躍の場所を広げる。すべての作品の作詞を手がけ、今までにシングル8枚、アルバム3枚を発表。2005年発売した3枚目のアルバム「&」に続き、2006年11月29日には初のベスト盤「BESTYO」を発売。

